

美しい多摩川フォーラム 平成29年度・第1回運営委員会議事録

日 時：平成29年11月9日(木)15:00～16:30

会 場：立川グランドホテル(JR立川駅北口)3階サンマルコ

出席者：会長 細野 助博 中央大学総合政策学部教授
副会長 小倉 紀雄 東京農工大学名誉教授
副会長 平野 啓子 語り部、大阪芸術大学教授
副会長 平岡 治房 青梅信用金庫理事長
委 員 船木 隆嘉 丹波山村 振興課 主事
中島 静樹 羽村市 産業環境部 産業振興課長
田部井 則人 狛江市 企画財政部 政策室長
入江 敏弘 大田区 都市基盤整備部都市基盤管理課 計画調整担当係長
佐藤 浩二 立川商工会議所会頭 (途中退席)
大東 一裕 東京急行電鉄(株) CSR推進室CSR推進部環境課長
永尾 昌文 (公財)東京市町村自治調査会 総務部長
木村 康雄 東京都森林組合代表理事組合長
小野木 喜博 (公財)とうきゅう環境財団 常務理事事務局長
渡邊 勇 おうめ水辺の楽校運営協議会会長
加藤 太 (株)JTBコーポレートセールス法人営業東京多摩支店 営業第二課長
前田 裕彰 近畿日本ツーリスト(株)首都圏西団体旅行支店支店長
梶田 隆弘 クラブツーリズム(株) 特別顧問
梶田 俊樹 富国生命保険(相)立川支社 市場開発課長
浅見 芳雄 (特非)緑の大地会 理事長
アドバイザー 藤野 強 (特非)青梅市カヌー協会会長
アドバイザー 澤田 實 東京シティガイド

(敬称略、以下同様)

配布資料：(第1号議案)美しい多摩川フォーラム「御岳の森・自然体験塾」木柵の改修工事について(案)

(資料 1)多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業

(資料 2)東北・夢の桜街道～桜の札所巡り事業(東北・夢の桜街道推進協議会)

(資料 3)多摩川“水”大学講座(5/19、6/16、7/21、9/15、10/20)

(資料 4)東急百貨店「ココエコチャリティー」実施(6/1～)

(資料 5)平成29年度総会開催(5/27)

(資料 6)多摩川流域11自治体交流イベントラリーに協力(5/27～11/14)

(資料 7)調布市環境フェア出展(6/3)

(資料 8)第9回・多摩川一斉水質調査実施(6/4)

(資料 9)多摩川っ子(第9号)発行(7/5)

(資料 10)「狛江古代カップ第27回多摩川いかだレース」参加(7/16)

(資料 11)美しい多摩川フォーラム設立10周年記念シンポジウム開催(7/29)

(資料 12)第9回・炭焼き体験と水辺の交流会(8/22)

- (資料 13) 多摩川流域魅力体験事業・事業運営連絡協議会会議開催(8/23、9/25、10/31)
- (資料 14) 第4回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーンについて(9/1～)
- (資料 15) 「多摩の物語」の語り会(9/9)
- (資料 16) 美しい多摩川フォーラムの森(青梅)「桜の記念植樹」イベント(9/23)
- (資料 17) 東急百貨店より第8回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈(9/29)
- (資料 18) 第9回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催(11/11、11/18)
- (資料 19) 第10回・多摩川子ども環境シンポジウム開催(12/9)
- (資料 20) フォーラムのシンボルマークについて

1. 開会 (運営委員会成立の確認、資料確認)

(事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成29年度第1回運営委員会を始めさせていただきます。本日の運営委員会は、出席委員、代理出席委員、書面議決書提出委員合せて51名で運営委員総数の過半数を超えておりますので、フォーラム規約第13条3項の規程により、本委員会が成立しておりますことをご報告いたします。

始めに、ご報告がございます。美しい多摩川フォーラムの初代事務局長であった宮坂不二生様は、本年7月末を以って青梅信用金庫を定年退職し、併せて美しい多摩川フォーラムの運営委員も退任されました。今後は、多摩川フォーラムの会員として、フォーラムを応援いただくことになりました。事務局一同、これまで同様にフォーラム事務局をしっかりと運営していく所存ですので、引き続き、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

次に、本日初めて運営委員会にご出席される方をご紹介します。

(羽村市 産業環境部 産業振興課長 中島 静樹 様)

本日は、並木市長の代理で参りました、中島と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。日頃、多摩川フォーラム関係者の皆さまにおかれましては、多摩川の魅力発信や保全について、多大なご協力をいただいております。今週末には、地元の企業と連携し、美しい多摩川クリーンキャンペーンを実施するとともに、再来週には多摩川カヌー駅伝大会にも参画し、多摩川フォーラムの事業を盛り上げてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(大田区 都市基盤整備部都市基盤管理課 計画調整担当係長 入江 敏弘 様)

松原区長の代理で参加しました、入江と申します。私の部署は多摩川フォーラムの連絡窓口で、各事業に関しては環境や教育担当の方をお願いしております。私の業務の中で、多摩川の河川整備もありますので、今回、運営委員会のはじめての参加ですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(丹波山村 振興課 主事 船木 隆嘉 様)

船木村長の代理で参加しました、船木と申します。本日は多摩川の上流から参りました。日頃から多摩川フォーラムの皆さんのご支援のお陰で、多摩川上流もきれいに保全することが出来ています。今後ともよろしく願いいたします。

(特定非営利活動法人青梅市カヌー協会会長 藤野 強 様)

藤野と申します。多摩川フォーラムさんとは、多摩川でのカヌー普及で色々と協力させていただいております。今後は多摩川カヌー駅伝大会等でもお世話になると思いますので、よろしく願いいたします。

2. 細野会長挨拶

(細野会長)

皆さんこんにちは。平成29年度第1回目の運営委員会です。さきほど事務局からお話がありましたように、多摩川フォーラム・ファウンダーの一人であり、初代事務局長であった宮坂さんが、定年でお辞めになりました。これまでの10年間でしっかりと支えてくれた方ですが、今は心にぽっかりと穴が開いたような気がします。一方で、我々に「次のステップをちゃんと踏むのだよ」というメッセージを残してくれたような気もします。宮坂さんは今、東北・夢の桜街道推進協議会の事務局を、ネットワーク多摩のオフィスで仮運営していますので、私も頻繁に宮坂さんにお会いしています。多摩川フォーラムはここまで順調に運営できていることとお話し、安心してもらいたいと思っていますので、今日も皆さんの闊達なご意見をいただきたいと思っています。それでは、事務局から経過報告をお願いいたします。

3. 経過報告

(事務局)

平成29年度上期の活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示しております。それでは、その中から特に(1)番の②、(14)番の2つの活動につきましてビデオにまとめておりますので、入口のスクリーンをご覧ください。

—ビデオ放映—

経過報告を続けます。

(3) 多摩川“水”大学講座(5/19、6/16、7/21、9/15、10/20)【資料3】

- ・ 【資料3】をご覧ください。6年目となる今年度は、小金井市様との共催のもと、5月19日に開講しました。引き続き小倉副会長に講師をお願いし、水環境に関するリーダーの養成を目指します。本件につきまして、小倉副会長に一言お願いします。

(小倉副会長)

10月で5回が終了し、11月で今年度が終了となります。毎年15名前後の参加者で、単に話をするだけでなく、お互いに活発な意見交換を行っています。6年が経過し、あと何年やれば良いのか事務局とも相談しましたが、あと4年で10年なので、第10回を目指して頑張りたいと思っています。

(6) 多摩川流域11自治体交流イベントラリーに協力(5/27～11/4)【資料6】

- ・ 【資料6】をご覧ください。これがイベントラリーの用紙で、中面がスタンプ台紙になっております。およそ半年に及ぶ多摩川11自治体交流イベントラリーが終了したところです。本件につきまして、狛江市企画財政部政策室長の田部井様に一言お願いします。

(狛江市 企画財政部 政策室長 田部井 様)

このイベントラリーについては、狛江市が調整役などをさせていただいております。11自治体様にご参加いただき、つい先日の11月4日に最後のイベントである小菅村の「第20回大地の恵みまつり」でラリーは終了しました。今後は、スタンプ2個以上集めると各自治体の特産品などが当たる抽選会が控えています。今年度についてはまだ集計中ではありますが、昨年度は約850名の応募がありました。当事業は多摩川フォーラム様から多大なご協力をいただいております。この場をお借りして御礼を申し上げます。引き続き、どうぞよろしく願いいたします。

(7) 青梅信用金庫より寄付金の贈呈(6/1)

- ・ 青梅信用金庫では、昨年2月から4月にかけて「多摩川夢の桜街道応援定期積金」を販売し、募集総額10億円の0.01%に当たる10万円の寄付金を4年間に亘りいただくことになりましたが、6月1日に、2年目の寄付金として10万円の寄付金の贈呈を受けましたので、ご報告させていただきます。有り難うございました。

(9) 第10回多摩川一斉水質調査実施(6/4)【資料8】

- ・ 【資料8】をご覧ください。6月4日に実施された多摩川一斉水質調査の最終結果報告書が纏まりました。当初より、小倉副会長にご指導いただいております。今年で第10回を数えました。今回は小倉副会長に特別にコメントをいただいております。水質調査結果につきまして、小倉副会長にご説明をお願いします。

(小倉副会長)

この水質マップは、有機物による汚れのひとつの指標であるCODで測定した結果を3段階で表示しています。青色がきれいな地点、黄色がやや汚れている地点、赤色が

汚れている地点です。これはあくまでCODという尺度で見た場合です。マップ裏面に、私のコメントが掲載されていますが、この流域での一斉水質調査は、10年間の延べ地点数で4,062地点、延べ参加団体数は670団体に達しました。これはあくまで年1回の調査ではありますが、CODの測定結果を見ると、水質のきれいな地点はおよそ53%、汚れている地点はおよそ13%となり、水質は流域全体として良好な状況です。これからは、多くの市民や行政の皆さんの努力下、水質の良好な地点は保全し、汚れている地点は皆さんで考えながら改善していくことが大切になります。このような調査をさらに継続していきたいと思います。

ついでに全国の様子を紹介しますと、全国では同じような調査が14回実施され、今年度は6,122地点、14年間の延べ地点数は75,232地点、延べ参加人数は99,749人となりました。今年度、10万人を目指しましたが少し足らなかったため、来年度は10万人に達するのではないかと思います。

(事務局)

有り難うございました。なお、当日は、渡邊環境清流部会長、山崎運営委員に、採水・測定のご協力をいただきました。どうも有り難うございました。

水質調査レポートの次ページをご覧ください。今回の調査も、CODに加え、水中の無機イオンの総量を示す電気伝導率や生活排水に多く含まれている硝酸態窒素、リン酸態リンのほか、水の濁りの程度を表す濁度、水の色の程度を表す色度を専門の計測器等を使って調査しました。資料をとりまとめられた渡邊部会長に、一言コメントをいただきたいと存じます。

(渡邊環境清流部会長)

報告させていただきます。まず、図1・多摩川本川のCODですが、先ほど小倉先生からお話いただいた内容をグラフ化したものです。測定地点46番・昭和くじら公園(昭島市)までは値が3以下なので、きれいであると言えます。47番から急激に値が上昇しますが、これは何故かと言うと、近くに多摩川上流水再生センター(下水処理場)があり、その処理水が入るのでCODが高くなっています。下水処理水はCOD値が8~10あるので、それが川に入り、上流からの水と合わさって多少値が低くなっているということです。52番は急に低くなっていますが、これは雨が少なかったため、支川のきれいな水を採水したようです。図2は支川のCODです。図3は多摩川本川の電気伝導率です。水の中のプラスイオンやマイナスイオンで、家庭から排出される塩化ナトリウムなどが入っていると値が高くなります。こちらも同様に、47番地点で下水処理水が入ってくるので値が高くなっています。71番から急激に上がっていますが、これは河口付近で海水が混じっているからです。次に、図5は多摩川本川の濁度・色度です。濁度についてはそれほど濁っていませんでしたが、色度については下水処理水が入ってくると、多少

緑がかかった色になり、数値が高くなっています。次に図7・多摩川本川の硝酸態窒素をご覧ください。46番までは窒素分が少ないですが、47番になると下水処理水が入ってきて、窒素などの栄養源が入ってくるので値が高くなります。魚の栄養源となる窒素・リンが石の表面に付き、餌になるので、窒素・リンがまったく無くなるのも問題ではありますが、どの程度の窒素・リンが多摩川にあれば良いのか、今後の検討課題だと思います。

(12)「東北・夢の桜街道推進協議会」平成29年度総会開催(7/21 福島県福島市)

- ・ 本年7月21日、平成29年度総会が福島県福島市で開催され、平成29年度も、当フォーラムより同協議会へ2,000,000円の拠出金が承認されました。当日は、宮坂様の退職に伴う青梅信用金庫の協議会事務局返上が報告され、2,000,000円の拠出金は今年度を以って終了することになりました。なお、美しい多摩川フォーラムは、引き続き、東北・夢の桜街道推進協議会の構成員として機能する予定です。

(13)美しい多摩川フォーラム設立10周年記念シンポジウム開催(7/29)【資料11】

- ・ 【資料11】をご覧ください。美しい多摩川フォーラムは、本年7月に設立10周年を迎え、昭島市のフォレストイン昭和館で設立10周年記念シンポジウムを開催しました。当日は、ドローンによる多摩川の空撮映像を初公開したほか、「多摩川の歌」の合唱、「これまでの10年とこれからの10年」と題したパネルディスカッションを行い、これからの10年のスタートに向けて弾みがつきました。

(16)第4回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーンについて(9/1～)【資料14】

- ・ 【資料14】をご覧ください。本年も、チラシをリニューアルして、JR東日本八王子支社様と連携し、管轄の駅にチラシを置いていただいております。また、大多摩観光連盟様が発行しているPR誌「大多摩四季報」にも掲載いただきました。今年も、はとバスさんが11月から12月に合計6本のツアーを組んでおり、募集状況は順調とのことです。

(17)「多摩の物語」の語り会(9/9)【資料15】

- ・ 【資料15】をご覧ください。二子玉川ライズ・オフィス8階のカタリストBAにおいて、「多摩の物語」の語り会を開催しました。このイベントは、世田谷区様のご後援のもと、区報に募集記事の掲載をいただき、東京急行電鉄様のご協力のもと、会場の提供、沿線23駅(田園都市線9駅、世田谷線10駅、大井町線4駅)にポスターの掲出をいただき、実現したものです。当日は87名のお客さまにご参加いただき、大変充実したイベントになりました。本件につきまして、東京急行電鉄株式会社CSR推進室CSR推進部環境課の大東課長様に、一言ご感想をお願いします。

(東京急行電鉄株式会社 CSR推進室 CSR推進部環境課課長 大東 様)

事務局からイベント開催場所について相談を受け、東急線沿線で色々と探した結果、多摩川すぐそばの二子玉川駅にオフィスを兼ねたビルがあり、その一角を借りることができました。当日は天気にも恵まれ、ほぼ満席で良かったと思います。今後もこのような機会がございましたら、協力させていただきたいと思います。

(事務局)

有り難うございました。ここで、当日、世田谷に伝わる民話を披露された平野副会長に、一言お願いします。

(平野副会長)

「多摩の物語」の語り会については、今回、東急グループさんに大変お世話になりました。ポスターの掲出もそうですし、いつも一杯でなかなか借りられない会場をお貸し下さり、有り難うございました。会場周辺は賑やかな複合施設だったので、出演者も、出演した時間やその前後を含めて、とても楽しく時間を過ごすことが出来たようです。大東様には、当日、出演者の控室に一般客が入らないよう、入口の椅子に腰かけていただき、その節は大変失礼しましたし、有り難うございました。

まず運営について話しますと、今回は東急グループさんの数々のご配慮もさることながら、実は事務局が、駅から会場まで、来場者が迷わないよう、所々で看板を持って立っていました。青梅信用金庫の皆さんが、フォーラムのメンバーとして動いたのですが、普段ならこんなところで看板を持って立たないような方が、ずっと立って案内をしてくださったことに本当に感謝しております。椅子の並び替えも有り難うございました。

物語そのものですが、中・下流部のお話については、とうきゅう環境財団さんにご支援をいただき、その予算の中で調査・研究・発行を行いました。これが、流域に伝わる物語をただ再話するだけなら、民話を話す人たちと同じになってしまうのですが、外の人たちが、その土地に足を踏み入れたら、こんな風景に出会った、こんな食べ物に出会った、こんな人々に出会った、そしてここにはこんな物語があつて、そこに触れることができる歴史や文化を感じることができた、という、旅人目線で見えたもの、聞いたものをひとつの物語にして、現代の民話を100年先に繋げようとしています。

こういった地味なものには理解をしていただけたところが少ないと思いますが、地域を活性化する上で、エキスパートの細野先生の前で言うのも恥ずかしいのですが、科学的な知見がとても大切だと思っています。小倉先生や渡邊先生が行っている、水質に関する調査研究もとても重要だと思っています。これは自然科学に入ります。しかし、科学には人文科学や社会科学もあり、映画や音楽、私たちの物語の歴史や文化もそちらに入ります。その人文科学や社会科学も全てがセットになって、私たち生きるものの営みが支えられ、生きがいにも繋がっています。たいてい多くの行政は、自然科学に多くの予算を

投入します。防災もそうです。しかし多摩川フォーラムは、人文科学や社会科学という方面にも同等に目を向けています。だからこそ、こういったことを積み重ねることができ、私としても感謝していますし、とても嬉しいと思っています。これからも、色々な科学を集めて、素晴らしい活動の基盤にしていければと思います。これからも皆様のご協力をいただきたいですし、「多摩の物語」も続けていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。今回のイベント会場はとても素晴らしかったもので、東急さんには、今後も何かの時にはよろしくお願いいたします。

(18) 美しい多摩川フォーラムの森(青梅)「桜の記念植樹」イベント(9/23)【資料16】

- ・【資料16】をご覧ください。当日は細野会長ほかフォーラム関係者や会員が33名参加し、ヤマザクラ45本、ウワミズザクラ5本が植えられました。最近、青梅市でもシカの被害が多いことから、植えた苗木の上からシカ避けネットも一本一本取りつけていただきました。

(19) 東急百貨店より第8回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈(9/29)【資料17】

- ・【資料17】をご覧ください。平成29年9月29日、株式会社東急百貨店本社にて、今年も東急百貨店のココエコチャリティー・イベントによる売上金の一部213,336円が、当フォーラムに寄付金として贈呈されました。因みに、贈呈式には、細野会長に出席いただきました。なお、いただいた寄付金は、「多摩川一斉水質調査」などの多摩川環境保全活動に役立てていきます。

(20) 第9回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催(11/11、11/18)【資料18】

- ・【資料18】をご覧ください。今年度は、昨年から新たに清掃会場として加わった川崎市多摩川河口を11日に開催し、多摩市一ノ宮公園会場と青梅市御岳会場については、18日に同時開催します。一人でも多くの会員の皆さまにご参加いただけたらと存じますので、よろしくお願い致します。

(22) 多摩川カヌー駅伝大会&ウォークラリー(11/25)【資料13】

- ・【資料13】をご覧ください。青梅市、羽村市、福生市、昭島市、八王子市、あきる野市の多摩川流域6市が連携して実施する多摩川カヌー駅伝大会&ウォークラリーが11月25日に開催されます。本件につきまして、青梅市カヌー協会の藤野会長様に、一言お願いします。

(青梅市カヌー協会 会長 藤野 強 様)

第2回目となる多摩川カヌー駅伝大会が開催されます。多摩川を、多摩川フォーラムさんと一緒に、「使える多摩川、きれいな多摩川、安全な多摩川」を目指して、スポーツと

いう切り口で多摩川の活用を推進しています。お時間がありましたら、ぜひ足をお運びいただき、ゴール地点での応援等、よろしくお願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。藤野会長から2回目という話がございましたが、前回は、昨年3月に「多摩川魅力体験事業」として、多摩川フォーラムの企画が採択され、東京都主催のもと、6市連携で開催しました。今年度は青梅市様を中心となり、東京都市長会に助成金を申請し、企画案が採択され、最大5年の事業となります。4年目～5年目は助成金が半分になるので、将来的には自立のことも考えて進めていくようになります。今回のイベントでは、新たにウォークラリー・イベントを取り入れており、集客面でも工夫をしています。また、当日は、親子で楽しめるカヌー体験教室も実施する予定です。ぜひ皆さまも関心を持って会場に足をお運びいただけたら幸いです。

(23) 第10回・多摩川子ども環境シンポジウム開催(12/9)【資料19】

- ・【資料19】をご覧ください。今年は、現在のところ、4組の参加が確定しております。最終的には、10組を目標に、各参加団体と調整中です。なお、今年度より、グランプリ、準グランプリを設け、表彰します。事務局からの経過報告は以上です。細野会長、よろしくお願いいたします。

(事務局)

事務局からの経過報告で、ご質問などございますか。ないようですので、本日の協議事項に入りたいと思います。それでは第1号議案の美しい多摩川フォーラム「御岳の森・自然体験塾」木柵の改修工事について(案)ですが、事務局の方からご説明をお願いします。

4. 協議

(1) 第1号議案:美しい多摩川フォーラム「御岳の森・自然体験塾」木柵の改修工事について(案)

(事務局)

【第1号議案】をご覧ください。これまでの経緯を説明します。

平成21年2月、「桜の植樹・維持再生のモデル調査事業」の一環としてヤマザクラを植樹し、青梅市に「御岳の森」が誕生しました。ヤマザクラが咲き始めた4月以降は、間伐した杉や檜を再利用しようとフォーラム事務局が一本一本皮むきし、同年5月、森林保全活動および次代を担う子どもたちへの自然環境体験を目的として、炭焼窯を設置し、同年7月には、NPO法人・緑の大地会ご協力のもと、自然体験教室のログハウスを完成させました。そして、同年8月、「炭焼き体験と水辺の交流会」を初めて開催し、今では毎年8月恒例の人気イベントに定着しております。

このように、「御岳の森」は、次代を担う子どもたちに、身近なところで生態系や環境の大切さを学ぶ機会を提供し、自然環境体験の実地研修施設としての機能を発揮しておりますが、本年7月、現場の安全確認をしたところ、自然体験塾の木柵が根元から腐っており、ぐらぐらと揺れる状態で、大変危険な状況にありました。しかしながら 今年度の予算措置が難しいことから、根本的に問題を解決するための改修工事は先送りとし、一時的な措置として補修工事をおこない、8月のイベントを実施しました。

来年度以降も安心して事業を継続していくために、このたびNPO法人・緑の大地会より、「御岳の森・自然体験塾」木柵の改修工事について、ご提案をいただいたところで、費用は270,000円(税込)です。こちらについては、平成30年度事業計画骨子・同予算(案)に計上させていただければと考えております。ご承認いただければ、改修工事は平成30年4月以降に実施し、平成30年8月に予定している「炭焼き体験と水辺の交流会」までには完成する予定です。細野会長、よろしくお祈いします。

(細野会長)

値段について、補足はありますか。

(事務局)

NPO法人・緑の大地会様には、当初からお世話になっておりましたので、お見積りに関しても全面的に信頼しています。また、同業者からも、この金額は、利益度外視の金額であるとのお話をいただいております。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。ないようでしたら、ご承認いただけますでしょうか・・・(拍手)。有り難うございました。以上で、協議事項が終了しました。それでは、次の意見交換に移ります。事務局の方からお願いします。

5. 意見交換

(1) フォーラムのシンボルマークについて【資料20】

(事務局)

【資料20】をご覧ください。シンボルマークにつきましては、フォーラム設立10周年記念事業の一つとして、大変有り難いことに、法人会員のアルピン株式会社様が無償でご協力くださることになっております。本日は、アルピン様よりご提示された3案について、ご意見をいただきたいと存じます。そのうえで、緩やかな合意形成を図って、できれば決定したいと存じます。始めに、前方のスクリーンに、3案を拡大して表示しますので、ご覧ください。

(細野会長)

順番が支持率の高さに影響すると悪いので、映す順番についてはランダムでお願いします。

(事務局)

はい。それでは、映された順に、各シンボルマークのコンセプトを読み上げます。

C案:両サイドにデザインした3つのラインは、多摩川の「川」を表し、川に挟まれるように「美しい多摩川フォーラム」の文字を配置し、水面の流れをイメージしたラインをあしらっています。スマート&シンプルでわかりやすいシンボルマークです。

A案:多摩川の「川」の字をベースに、中央のラインに配置した丸(輪)は多摩川の最初の1滴である「笠取山の山頂下の水干」を表し、右下に重なる3つの丸(輪)は、東京湾にそそぐ全長138キロにわたる多摩川の流れがつなぐ「地域の輪」・「人々の輪」であり、それら「全ての心をゆるくつなぐ輪」であることを表現しました。

B案:川の流れを躍動感のあるフォルムで構成し、ラインを3つにすることで、多摩川の「川」の字を表現しました。この3つのラインは、「笠取山の山頂下の水干」から「東京湾」までの多摩川の全長138キロの流れであり、多摩川の姿をイメージしたシンボルマークです。次に、パンフレットやチラシに入れたものを見てみたいと存じます。

ーチラシ、パンフレット、名刺をスクリーンに投影ー

(細野会長)

いかがでしょうか。皆さんからご意見をいただく前に、先月行われた3つの活動部会での意見交換の様子を事務局から簡単に報告してください。

(事務局)

はい、先月開催された3つの部会では、活発なご意見をいただきました。A案については、「正方形に近い形で一番マークらしく、バッチにしてもバランスが良い。コンセプトが素晴らしい」。B案については、「源流から河口まで流れる川をイメージすることができ、流域全体を緩やかに結んでいる感じがして良い。字体が個性的で良い」。C案については、「フォーラムの名前が中央にあってわかりやすい。英文があるところが、インバウンド向けに良い」などといったご意見がありました。また、ご意見が分かれたということは、どの案もそれぞれに特徴があつて優れているということかもしれませんし、あとは人の好みの問題との話も寄せられました。

(細野会長)

それでは、全員にご意見をお聞きしましょう。時計回りで順番にお願いします。

(公益財団法人東京市町村自治調査会 総務部長 永尾 昌文 様)

部会に出席した際、女性はA案が多かったです。私は美術の成績は悪かったのですが、結果的にはA案をお願いします。

(狛江市 企画財政部 政策室長 田部井 則人 様)

狛江市としましても、結論はA案です。シンボルマークですので、チラシや冊子に載せた時、シンボルマークが頭に残るデザインであるという事と、パッとみて川をイメージできるデザインであるからです。

(大田区 都市基盤整備部都市基盤管理課 計画調整担当係長 入江 敏弘 様)

私個人の意見ですが、私はB案が良いです。

(東京急行電鉄(株) CSR推進室CSR推進部 課長 大東 一裕 様)

部会の時はB案と答えましたが、今日、実際にチラシや名刺に入れた雰囲気を見て、縦でも横でも上手くはまるA案が良いと思いました。

(公益財団法人とうきゅう環境財団 常務理事事務局長 小野木 喜博 様)

シンボルマークとして、シンプルでパッと目に入ってくるA案が良いと思います。

(東京都森林組合代表理事組合長 木村 康雄 様)

私は部会の時からA案を支持しています。ロゴマークではなく、シンボルマークですから、下の文字はいらないと思います。

(クラブツーリズム(株) 特別顧問 梶田 隆弘 様)

結論から言えば、私もA案が良いと思いますが、縦の時は良くて、横の時に座りが悪いような気がします。縦バージョン、横バージョンがあれば良いのかなと思います。

(近畿日本ツーリスト(株) 首都圏西団体旅行支店支店長 前田 裕彰 様)

私も部会の時からA案です。A案で和文と英文を作れば良いと思います。

(富国生命保険(相)立川支社 市場開発課長 梶田 俊樹 様)

私は部会の時からB案が良いと思っていました。川の流れや躍動感があって良いと思います。

(青梅市カヌー協会 会長 藤野 強 様)

私は今日初めて目にしましたが、大変素晴らしいと思います。私はB案が良いです。

川の流れが、源流から下流までをイメージさせます。

(東京シティガイド 澤田 實 様)

私も部会からB案を支持しています。上流から下流をイメージできます。

(株式会社JTBCコーポレートセールス法人営業東京多摩支店 営業第二課長 加藤 太 様)

シンボルマークと考えるとA案が良いと思います。インバウンド向けも必要だと思いますので、英文もお願いします。

(特定非営利活動法人緑の大地会 理事長 浅見 芳雄 様)

私は個人的にB案が良いと思います。

(おうめ水辺の楽校運営協議会会長 渡邊 勇 様)

私は、曲線が川をイメージさせるので、B案が良いと思います。

(丹波山村 振興課 主事 船木 隆嘉 様)

初めはB案が良いと思ったのですが、JRさんのロゴと並べた時、A案のほうが、座りが良いと思ったので、A案でお願いします。

(羽村市 産業環境部 産業振興課長 中島 静樹 様)

A案が良いと思います。こちらに来るまでは、躍動感のあるB案が良いと思っていましたが、実際にチラシ等に入れたものを見ると、A案のほうがインパクトあります。ただ、A案で残念なのは、縦長なので、チラシにはB案やC案のほうが、座りが良さそうです。A案を真四角にするのか、少し検討したほうが良いと思います。

(平野副会長)

シンボルマークは今後ずっと使うものなので、自分の子どもの名前を付ける時のようにしっかり考えなければならないと思います。目立つことだけを考えるとA案ですが、下の文字を付けると縦長なので、よく考えなければなりません。また、マークを決めてから英文のものを見るのは、順序として逆だと思います。作ったものを見て考えないと駄目だと強く言いたいです。私は当初、C案が断然良いと思っていましたが、こうやって3つ並ぶと、B案がすごく良いと思いました。A案は目立つけど、ここから見ると長方形が3つ並んでいるように見えます。3つの中ではB案が一番センス良いと思います。本当は、今日決めなければいけないと思うのですが、今日用意してくれたパンフレットは背景が白ばかりです。実際は白だけとは限りません。だから囲みの間隔はすごく大切だと思います。今日どうしても決めるということであれば、B案が良いと思います。C案のように、パッと見て

英文が小さくて読めないというのは、これからのインバウンドを考えると、どうかな、と思います。C案の英語表記は、違うのではないかなと思います。

(小倉副会長)

私は川の流れを表したB案が良いと思います。

(平岡副会長)

私が最初に見た時、A案はバッチには良いと思いましたが、B案を見ると、マークの上に山がある風景を思い描きました。そして、マークの下には東京湾に流れ込むイメージがあり、B案が良いと思います。

(細野会長)

全員にお聞きしました。事務局で集計をお願いします。…いかがでしたか？

(事務局)

A案が10、B案が9となりました。

(細野会長)

それぞれ甲乙つけがたいですが、どうしましょうか。非常に難しいですね。

(富国生命保険(相)立川支社 市場開発課長 梶田 俊樹 様)

部会の時の集計結果を参考にするというのは如何でしょうか。

(細野会長)

実は、意見に影響すると思ってあえて公表しなかったのですが、それでは、部会の集計結果を事務局から報告して下さい。

(事務局)

教育文化・環境清流合同部会でもA案とB案に意見が分かれていましたが、若干B案が上回りました。一方、地域経済活性化部会では、圧倒的にA案でした。二つの部会を合計すると、A案が50%、B案が40%、C案が10%でした。部会でもA案とB案が拮抗しているという状況でした。

(おうめ水辺の楽校運営協議会会長 渡邊 勇 様)

これだけ拮抗していますので、今日決めるのであれば、会長に決めていただくというのはどうでしょうか。

(細野会長)

責任重大ですね。それでは、私の好みを申し上げます。インターナショナル性、パッと見て川だと分かることから考えると、私はB案が良いと思います。これでA案10、B案10となりました。さてどうしましょうか。はじめはA案が良いと思っていましたが、遠くから見ると、B案のほうが良く見えます。

(公益財団法人東京市町村自治調査会 総務部長 永尾 昌文 様)

私は部会でB案を支持しました。A案のデザインコンセプトはかなり素晴らしいと思い、先ほどA案と申しましたが、遠目から見ると、やはりB案が良いです。B案に替えさせていただきます。これでA案9、B案11となりました。如何でしょうか。

(細野会長)

私もここへ来るまではA案だったのです。しかし今日改めて見ましたら、B案のほうが認知的な意味では優れているのかなと思います。永尾さんにも心変わりしていただきましたが、本当に悩ましいです。B案でよろしいでしょうか。(拍手)それではB案に決定させていただきます。これが100年続いていきますので、ぜひ愛していただきたいと思います。

(平野副会長)

英文の件はどうなるのでしょうか。また、川のデザインについても、先がとがっています。先端恐怖症の人が反応することがあり、中刷り広告を見ても、先端が少し丸まっているほうが多いです。それをご検討いただければと思います。ただし、それをやることによって、せっかく目立っていたものが変わってしまうのなら別ですが。

(細野会長)

英文については、ネイティブの人に聞きましょう。シンボルマークには英語版と日本語版があっても良いのでしょうか？

(事務局)

部会でも様々な意見が出たので、デザイナーに相談したところ、デザインのほんの一部を変更するだけでも、そもそもデザイナーのコンセプトと変わってくるそうです。また、部会において、英文を入れるべきだという意見と、むしろ英文があるとごちゃつく、漢字は外国の方に関心が高く、むしろ英文はない方が良いという意見もありました。

(平野副会長)

確かにB案の漢字は樹木や木材を感じさせるようなフォルムになっていて、興味を引

くかもしれませんね。

(事務局)

ちなみに、A案やC案の文字はパソコンで作れる文字のようですが、B案の文字はパソコンで簡単に作れる文字ではないそうです。そういう意味で、デザイナーからは、このロゴは他には真似できない、言葉を変えると「個性的である」という説明を受けました。

(細野会長)

それでは改めてB案に決定ということで、ぜひ皆さんに愛していただきたいと思います。事務局から補足があれば、お願いします。

(事務局)

実は、10月の部会の後、今後、シンボルマークを末永く安心して使用していくためには、商標登録の必要性があるとのことをご意見をいただきました。これを受け、事務局では商標登録を検討し、特許事務所に見積をお願いし、100万円を超える金額の提示を受けたところです。酒蔵街道のロゴマークを商標登録した時は、約22万円であったため、正直言って今回の金額の大きさに驚きました。酒蔵街道の時は、申請区分を観光等に限定して申請したため、1区分あたりの金額で済みましたが、フォーラムとなると、観光のほかにも環境や教育文化事業等に関する申請区分が6区分もあるとのこと、100万円を超える金額になるそうです。そもそも酒蔵街道のロゴマークは、旅行会社等がツアー募集等の商売に使用する関係で商標登録致しましたが、非営利団体のフォーラムという団体名のシンボルマークについて、100万円以上かけても商標登録をすべきかどうかについて、皆さんにご意見を伺いたいと存じます。細野会長、よろしくお願いします。

(細野会長)

悩ましいですね。せっかく素晴らしいシンボルマークができて、他に取られることがあると困りますが、100万円を超えとなると慎重に考えなくてははいけませんね。他の活動に使うということも必要かもしれません。皆さん、ご意見をどうぞ。

(平野副会長)

質問です。例えば、よそに似たものがあるのかないのか、登録の手続きをしている段階で分かることはないのでしょうか。

(事務局)

実際に使っている団体があり、その団体がすでに商標登録をしていて、その団体がフォーラムのシンボルマークに目をつけ、「すでに商標登録しているから使わないでくれ」

と言われてしまえば使えません。特許事務所では、もちろん登録したほうが良いとおっしゃいますが、別の有識者に相談したところ、多摩川フォーラムという団体が商売している訳でもありませんし、団体名のシンボルマークに対して実際に訴訟が起こる可能性は極めて低いと聞きました。また、最近、法の制度が変わり、特許事務所にお支払いするのは前払いだそうです。但し、調査の段階で他に使っている団体があった場合、途中で取り下げる場合は、お金が戻ってくるそうです。その場合、調査で仮に10万円かかると、残金の90万円が戻ってくるそうです。ちなみに、酒蔵のマークを登録した時には後払いでした。

(細野会長)

皆さん、如何でしょうか。よろしいですか。商標登録はしないということにしたいと思います。

(事務局)

一点だけすみません。従来から使用しているロゴマークですが、このマークはパソコンで作ったもので、商標登録はしていません。今回決定したB案のシンボルマークがチラシにそぐわない場合は、従来のロゴを使う等、デザインに応じて2つのマークを使い分け、もしくは併用することについて、皆さんにご意見を伺いたいと存じます。

(細野会長)

皆さん、如何でしょうか。使用については事務局に一任するという事でよろしいですか。(拍手)はい、では事務局は責任重大ですが、よろしく願います。それでは、「ドローンによる多摩川空撮映像の活用について」について、説明をお願いします。

(2)ドローンによる多摩川空撮映像の活用について

(事務局)

この映像は、7月29日にシンポジウムで初公開した後、現在は多摩川フォーラムのホームページと YouTube にもアップし、全世界で閲覧可能になっています。約14分間の映像ですが、今日はお時間の関係で、冒頭3分だけをご覧ください。

－ビデオ放映(冒頭3分のみ)－

いかがでしたでしょうか。せつかくこれだけのものを制作したのだから、もっとPRしたほうが良いというご意見が多数事務局に寄せられております。この映像の活用について、皆さんにご意見を伺いたいと存じます。細野会長、よろしく願います。

(細野会長)

空撮映像をどのように活用するか、色々とアイデアはあると思います。時間の関係もありますので、何かございましたら、事務局にご一報ください。

6. 総括・閉会

(小倉副会長)

何回か議論されたシンボルマークが決まり、美しいデザインになりましたので、大変良かったです。これを今後活用していただければ良いと思います。

(平野副会長)

冒頭、宮坂前事務局長さんの話があり、なんだか追悼式のような雰囲気になりましたが、それほど、このフォーラムを支えてくださった方だということです。先ほど言い忘れてしまいましたが、事務局の木村さんが、最近イベントで司会をしてくださってしまっていて、その前は及川さんが司会をしていました。お二人とも、ものすごく司会がお上手です。プロ顔負けだと思っていますし、臨機応変で、内容も分かっているから、質疑応答等もマイクを持って上手くやってくれて助かっています。そういったことが会場全体を支えています。そのことひとつを取ってみても、宮坂さんがいらっしゃらなくなったのは残念ですし、私も心に穴が開いたような感じがしないでもないですが、細野会長のもと、一丸となって一人一人の力を発揮し、ゆるく繋がれば、必ずや今後も良い形で拮がっていくと思います。そのことを私自身も心掛けながら、今後も頑張っていきたいと思います。

(平岡副会長)

宮坂さんにはこのフォーラムを立ち上げていただきましたが、青梅信用金庫の職員ですから、いずれ定年が来ますので、事務局長を及川に引き継ぎ、及川も、平野さんからお話があった通り、大きく成長してくれました。そういった意味で、これからも及川事務局長のもとでフォーラムを運営していきますし、青梅信用金庫としては、「ALLあおしん」でこのフォーラムをバックアップしていきますので、各イベントがありましたら、職員が一会員として色々と参加させていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

(細野会長)

皆さま、事務局のほうをお向きください。事務局6名は、非常に能力のある方ばかりです。ぜひ私たちも高い信頼を抱いて、これからも頑張ってくださいるように拍手をお願いいたします。平岡理事長も、「美しい多摩川フォーラムは青梅信用金庫の心である」とおっしゃっています。宮坂さんがいらっしゃらなくなっても、引き続き支えてくださるとおっしゃっていますので、皆さんも安心して平岡理事長に要求なさってください。よろしく願いいたします。それでは、平成29年度第1回運営委員会をお開きにします。有り難うございました。

以 上
(美しい多摩川フォーラム事務局)